

事務事業名		(仮称) 山田家資料館活用計画策定事業		目標設定日	平成29年3月1日
				部・局	教育委員会事務局
総合計画体系	基本政策	4	ふるさとを学び育つ文化のまちづくり	課・室	生涯学習課
	政策	03	地域の歴史・文化の保存と活用	係	文化財係
	施策	01	文化財の保護・保存・活用	内線電話	8262
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	10款	教育費	計上	
	項	4項	社会教育費	実施期間	
	目	2目	文化財保護費	平成29年度 ~ 平成30年度	

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）	
	市民	資料館の活用計画を策定し、館内の資料や建造物等を公開することで、近世から近代にかけての中野市の歴史を知ることができる。	
現状・課題	平成20年に山田顕五氏等から、市に邸宅等の寄贈があり、平成22年から資料館として暫定公開している。今後広く市民に資料館を公開するため、活用計画を策定する必要がある。		
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	中野市が（仮称）山田家資料館を所有しているため。	
事務事業概要	資料館の活用計画を策定するため、資料館の現況・用地測量業務を実施し、計画策定委員会を開催することで、平成30年度を目途に資料館の活用計画を策定する。		
平成29年度の活動指標アウトプット	活動内容		活動量
	（仮称）山田家資料館活用計画策定委員会の開催		3回
	（仮称）山田家資料館現況・用地測量業務		一式

事務イン 事業プ ット	項目		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	予算額	当初予算	円	0	0	2,727,000
補正予算		円	0	0	—	
合計		円	0	0	2,727,000	
決算（見込）額 A		円	0	0	—	
財源内訳	国庫支出金	円	0	0	0	
	県支出金	円	0	0	0	
	市債	円	0	0	0	
	その他特定財源	円	0	0	0	
	H29は予算額 一般財源	円	0	0	2,727,000	
正規職員数		人	0.00	0.00	0.84	
人件費 B		円	0	0	5,549,880	
総事業費 A+B		円	0	0	8,276,880	
市民1人当たりコスト		円	0	0	191	

成果指標	アウトカム	方向	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
(仮称) 山田家資料館活用計画(素案)の決定		作成	目標		案	案	1	案
			成果		案	案	—	
			目標					
			成果				—	
成果指標と目標値の設定理由	平成30年度に計画を策定し、平成31年度以降、広く市民に資料館を公開する必要があるため。							

平成29年度の実施方針	重点的に実施	活動量	増やす	コスト	上げる	成果	上げる
	(仮称) 山田家資料館活用計画策定のため、調査、検討する。						

